

◆男はいつだって耐えねばならない。事がある…。マスターの勘違いと、助手気取りの女と…!!?



頼んだ覚えが無いカレーを
マスターが持ってくるのも
事件だが、いつもの事だ。



街は事件で溢れている。



そう、俺は常に
事件に巻き込まれる男。

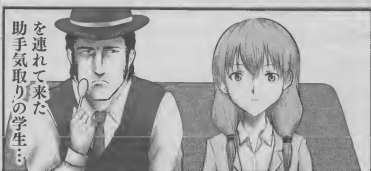
探偵をしている
一人の男。



そのどちらでもない。



今日、俺が
解決すべき事件は
目の前の依頼人…



を連れて来た
助手気取りの学生…

漏れそつな男。

その男に
残された時間は
わずか……!?

俺はでっかいのが

前半・事件発生編

おなかる探偵
ゆるゆ

名探偵の推理・忍術の持ち主GAGが主役
フオビドン・澁川

初の基調GAGです……

人は過去に縛られながら
生きてゐるものだ。

それで解決すれば探偵は
お飯の食い上げだ。

「じゃあトイレに行けばいい……」

とにかく俺は誰にも
便意を悟られたくない男。



そう、あの日……
小学三年の休み時間に……

ウンコマンが
いるぞおおおお!!



うおおおお
誰かウンコしてるうう!!



探偵さん!

男。

探偵さん……

そして俺はもう既に
漏れでるかもしれないから
今更トイレに行きたいんだ
言いたくない



お前は殺しのライセンスを
持っているのか……?

はあ?
話聞いてました?
しっかりして下さいよ!

あああ……
失礼

それで……
依頼内容は?





ゼリー…!?

こんにやく…



私の家から消えた
「クニヤクニヤ蒟蒻ゼリー」を
探し出して欲しい…!



云わば密室消失事件…!
これは探偵の出番では
無いのかね!?

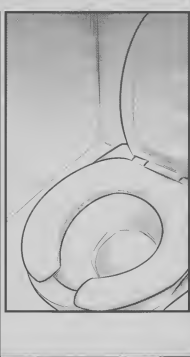
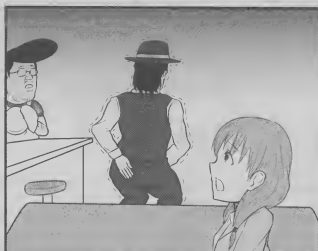
現在妻は長期旅行中で家には私一人…
戸締りには細心の注意を払っている

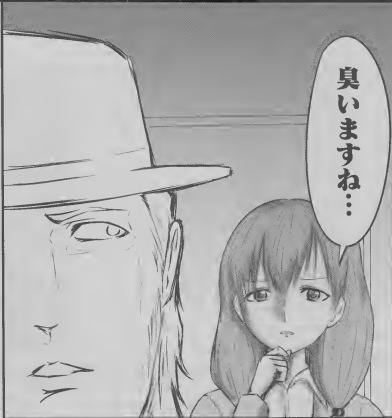


ご存知かな?
クニヤクニヤとした食感で
親しまれる「蒟蒻ゼリー」…

私の好物でね…
常にかい置きをしてあるのだが
一袋 忽然と姿を消してしまったのだ…







探偵さん！
私にも何か力になれることが
あれば言ってください！

なら聞こうか…

トイレって普通何を
するところだと思う？

作戦会議をするところ…？
合コンとかでもそうですし…

右のイケメン
好みなんだケド？

違うしお前合コンとか
行かないほつちだろ…！

ええ!?すごい!
どうしてわかったんですか?

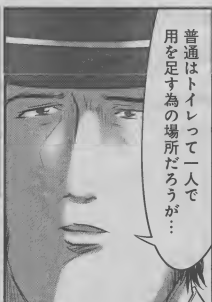
やっぱり
探偵だから!?

話はそこじゃねえよ

普通はトイレって一人で
用を足す為の場所だろうが…

…え？

探偵さん…
ウンコか何かしたいんですか…？



いや全然…

探偵はウンコとか
しない男…

この仕事始めてからウンコとか
したことない男だわ…

スゴイ…！
これがプロの探偵…

それでさっきの依頼人の
話なんですけど…

待て…！

その件だが…

まずは一人に
してくれないか…？

決してウンコをしたいワケではないが
一人でじっくり考えて…
スッキリしたい！

嫌です！

私も事件の解決に
立ち会ってスッキリしたい！！

よせ…！

お前が思っているより遙かに
この事件は危険だ…！

危険！？

やはりあの依頼人
薩摩セリーを探して欲しいなんて
言っておいて裏があるんですね！？

そもそも依頼する
お金で買いなおせば
いい筈…

それを態々依頼する
真の目的とは…？

救えてください
探偵さん！

我慢の限界！？

あの依頼人は探偵をそれ程
怒らせるほどの汚い仕事を
依頼しに…！？

もう全てをぶちまけて
楽になりてえ…

…！？

探偵さん
それは一体どういう…



波が来た男…!



でっけえ
でっけえ…

ギ
ギ
ギ…



山!?
海なのにな!?

一つの山場だ…!



波!?

海の話ですか!?



海と山…

うみ

やま

それとこの事件に
何の関係が…?





◆探偵のシモからも全貌が...!!?



END

特別
読切

後半は295ページへ!!

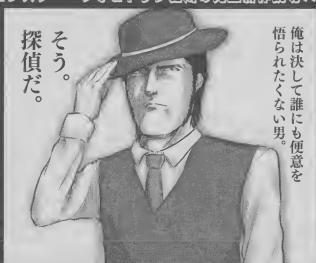
おなかゆるゆる探偵 前半

◆全身全霊、全筋肉と神経を肛門に集中し、いざその名推理を聞かせておくれ!!!



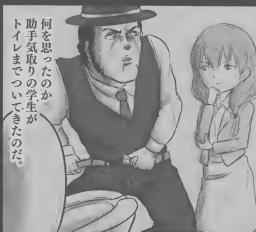
「消えた海弱ゼリーを探して欲しい」……
珍妙な依頼内容にその場の時は止まった。

そんな俺が便意に耐えている最中、
依頼人はやって来た。



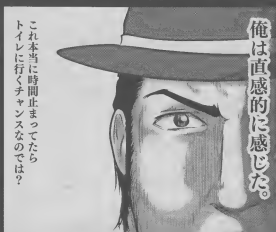
俺は決して誰にも便意を
悟られたくない男。

そう。
探偵だ。



何を思ったのか
助手気取りの学生が
トイレまでついてきたのだ。

しかし現実はその甘く無い。



俺は直感的に感じた。

これ本当に時間止まってたら
トイレに行くチャンスなのでは?



それが更なる事件の
幕開けになる事を。



マジ勘弁。

俺は何とか助手を
追い出したが……。

その時は
思いもしなかった。

後半：限界と推理の狭間で

おなか
ゆるゆる

探偵
ドッグ

フオビドグ

探偵GAGAGA

忍耐力と推理の限界

風が切れてきたぞおおお!!!

事件はまさに
密室で進行中!!!

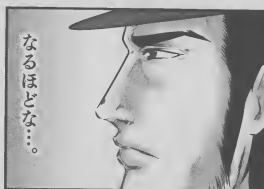


常識だとトイレの個室は
マルチブレイ非対応だぞ...

僕は関係
無くない?

何故って...
探偵が推理を披露する際
全員集めるのは
常識じゃないですか

何故皆さんお揃いで?



俺が事件を解決して
コイツらを追い出すまで…

持ち堪えてくれ肛門括約筋!!

消えた蒟蒻ゼリーの謎…

その謎を解く前に
依頼人である貴方にお聞きしたい

謎っていうか
普通に食べた事を
忘れてるんじゃないや…?

死にたくなければ
黙ったほうがいい…

依頼人…

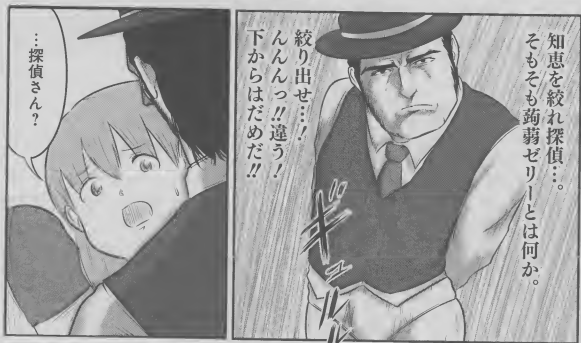
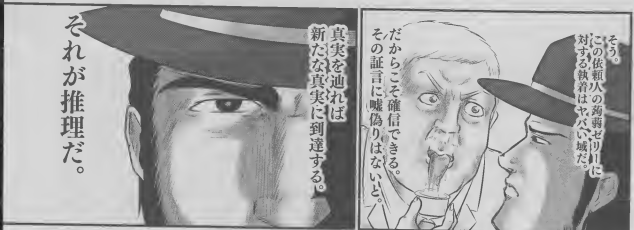
貴方は蒟蒻ゼリーを
どうやって食べますか?

食べ方…?

私は冷蔵庫で冷やして
そのまま食べているが…

という事は買い置きの分も
冷蔵庫に…?

全てぶちこんである



何て鋭い眼光!!

依頼人を睨んで...?
いや違う!

あの眼は...
その先の真実を見据えている...!!

弱弱ゼリー
= 食物繊維
うんこ
= 依頼人
うんこ?

俺はもう...

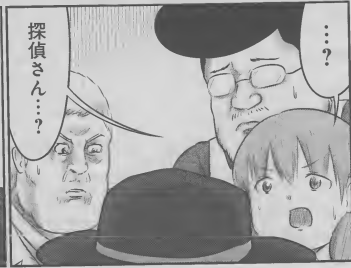
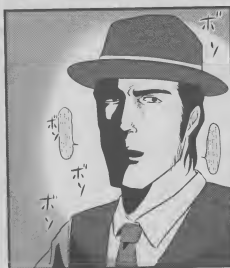
うんこしか
出てこない男。

何だ!?

地震!?
いや...

探偵さん!?







違いますか!?



あの日冷蔵庫が一杯だった貴方は…

買ってきた
菊蔞ゼリーを
冷蔵庫に入れた…?



確かに私は
あの日…

そうだ…



常温でもよかった筈なのに
何故 冷凍室に…?



え…何これ
これで事件解決?



乗り切った…

いえ…
まだです

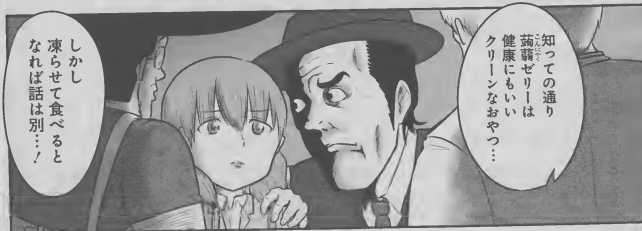


まだやるんかコイツら…!!



魔が…

差したのかもしれんな…



知つての通り
蒟蒻ゼリーは
健康にもいい
クリーンなおやつ…

しかし
凍らせて食べると
なれば話は別…!



私はあの日 蒟蒻ゼリーを
凶器に変え…

あまつさえ食そうとしたが…
良心の呵責に苛まれ
忘れようとしていたのだ…



美味さも喉に詰まらせる
危険性も何倍にもなり…

冷凍蒟蒻ゼリーのキルレシオは
お餅に匹敵すると個人的に思う!!

そして今日
ここに依頼に来たのは
誰かにそれを咎めて貰おうと…

いや…誘惑に負けそうなの
自分を止めて欲しかっただけ
なのかもしれんな…

それ以上はよせ

探偵は依頼に私情を
挟まない男…

仕事は終わった…
頼むから一人にしてくれ！

ありがとう…

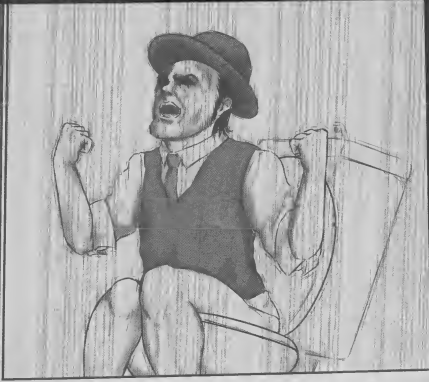
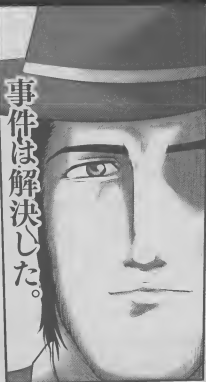
名探偵…！

TOILET

LOCK

俺やっぱ
必要無かったよね…？

事件は解決した。



どれだけ推理を重ねても
明日の事は分からない。



一見平穏に見えるこの街も
危険に溢れている。

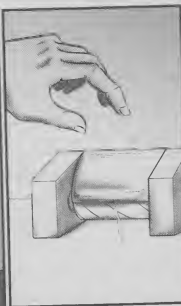
だが、次はどう転ぶか
分からない。



今回はギリギリ
助かった。

常に事件に
巻き込まれる男。

俺は探偵。



◆男は事件に塗れている——。



END

特別
脱切

ご感想、頂けますか……!!

おなかゆるゆる探偵 後半